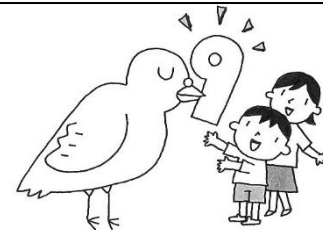


戦争体験を風化させない 浦安空襲を語り継ぐ取り組みの実施を！



週刊 市議会報告

日本共産党

2017年5月15日

第1413号

【発行】

日本共産党
浦安市議団

☎ & FAX
350-1243



市議会議員
元木美奈子

入船 4-37-14
☎355-8526
minamotonton@
jcom.home.ne.jp



市議会議員
美勢麻里

北栄 2-3-16-203
☎354-9269
m5mise@jcom.
home.ne.jp

戦争を知らない世代が日本の人口の80%以上になっていきます。浦安市史には載っていない浦安空襲の体験談を記録し語り継ぐ取り組みの強化を3月議会一般質問にて求めましたので報告致します。

安保法制・戦争法案が国会で論議され始めたころ、浦安で生まれ育った男性から「自分は8歳の時に浦安空襲で生き埋めになって助かった。戦争は絶対になにがあってもおこしてはならない、この法案は通してはならない。」と浦安町史などには掲載されていない浦安空襲の体験談を聴く機会がありました。

日本共産党浦安市議団は、浦安空襲の実態を知る機会を通じて、空襲被害を把握する取り組みの実施を市に求めてきました。

浦安、戦後生まれ90.3%

浦安では1946年戦後生まれの年齢割合は90.3%となっています。

浦安空襲の体験者が高齢となり少なくなるなか、戦争体験を風化させないための取り組みの必要性を感じ、実態把握や、記録の保存、語り継ぐ取り組みについて、3月議会で改めて求めました。

生涯学習部参事は実態把握や記録の保存について、第二次世界大戦では「浦安に6回の空爆がある中、3回の人的被害があり、7名（2歳、13歳、15歳、31歳、37歳、54歳、75歳）の方が亡くなり、当時の消防団当直誌への記録が浦安町史などにも掲載されている。」ことや「現在、郷土博物館の学芸員による聞き取り調査を行っている。浦安市漁労習俗調査の中でも戦時中の暮らしを記録している。今後そのような方から聞き取りをして戦争中の暮らし等を記録していきたい。」などと答えました。

しかし、市が市民に聞き取り調査を行っていることや、その結果などについては知らされていません。

記録の収集や保存には市民への働きかけや協力依頼が不可欠です。市はもっと積極的に全市民的なお知らせを行い、取り組む必要があります。

資料の収集展示、次世代へ繋げる取り組み強化を

戦争記録保存資料の収集、展示の取り組みについて、松戸市は「戦争記録保存資料収集」として、市民から寄贈された戦中・戦後当時の貴重な資料を公開し、市のホームページにも掲載しています。昨年8月には、北海道十勝管内の本別町歴史民俗資料館主催で開催されている企画展「7月15日本別空襲を伝えるくおばあちゃんの戦後」を視察しました。

資料館では、毎年、終戦記念日前後に本別空襲を伝える企画展を開催しています。

17回目の開催となる館内には、貴重な写真・資料・軍服や手帳などの遺品、軍国少年の切り抜きノート、立体的な地図、体験談パネル・戦中のすまい、本別空襲紙芝居「ゆう子の鈴」原画も展示され、とても充実していました。



立体的でわかりやすい、本別空襲マップ



地元紙、十勝毎日新聞に掲載された公開座談会の記事

次世代へ継承する 取り組みの強化を

本別町では、昨年、本別空襲日の7月15日に地元の本別高校体育館にて、公開座談会「本別空襲を伝える会」が行われ、体験者と中学高校生の思いが披露され、本別空襲の記憶を次の代につなぐ決意を新たにしましたということです。

浦安でも、語り継ぐ取り組みの実施を求めましたが、生涯学習部参事は「報告書でお知らせをしていく」とし、現状のままの考えであることがわかりました。



週刊誌「週刊小国民」新聞の切り抜き

日本共産党は資料の保存の充実と小中学生に学校行事として、年に一回は来館する取り組みを積み重ねている本別町の事例をあげ、浦安市でも企画展を実施するよう求めました。

市は資料収集が大切であることは認め、戦時下の資料の収集を続けていくことを約束しましたが、企画展を開催していく必要性については明言しませんでした。

学習指導要領の影響で 戦時下のくらしが削除に

小学3、4年生の社会科の副読本「わたしたちの浦安」には浦安の歴史についての項目があります。

ところが浦安空襲については掲載がありません。

わたしたちの浦安は2年ごとに改訂をしています。浦安空襲についての掲載がないのはなぜか質しました。

教育総務部長は「戦時下の生活について1996、1998、2000年度版はコラム欄に掲載していた」「1998年に告示された学習指導要領の全面実施に伴い学習内目標や内容が一元化され、使用していた教科書との整合性を踏まえ2002年度版より戦時下の内容は削除されている」ことを明らかにしました。

2002年度から「学習指導要領」が変わり、「総合的な学習」が始まっています。風化しつつある空襲の記憶を、次世代に伝える取り組みについて、削除していることは大変問題です。

日本共産党は今後も世代継承のための取り組みの強化を求めていきます。

第47回 空襲・戦災を記録する会全国連絡会議・千葉大会

1971年の東京から始まった全国大会が、今年千葉市で初めて開催されます。

大会開催日 8月19-20日

会場 千葉教育会館

参加申込書・払込共に6月30日必着
大会参加者は先着170名

詳細は会のホームページから

http://kushusensai.net/?action=common_download_main&upload_id=283